

(グループホームあおやま) 令和元年度第6回 運営推進会議議事録

日時	令和2年2月20日	14時05分	～	14時25分
----	-----------	--------	---	--------

場所	グループホームあおやま 2F リビング
----	---------------------

出席者			
事業者	5名	市職員	1名
利用者	6名	包括職員	1名
利用者家族	1名	有識者	0名
住民代表	1名	介護相談員	0名

議題															
事業者からの活動状況報告															
・感染症について															
<p>新年が明け早くも2月半ばとなりました。暦の上では立春を過ぎたとは言えまだまだ寒い日が続いています。最近では新型コロナウイルスによる感染者が日に日に増えていると報道で目にします。幸いこの冬の期間、入居者様で風邪の症状やインフルエンザに感染された方は現在の所おられず、皆様お元気に過ごされています。今後も感染症からの予防に努めていきたいと思えます。</p>															
・入居者状況報告															
入居者数 18名				入院者数 0名											
令和2年2月20日現在															
年齢	70以下	71～75	76～80	81～85	86～90	91以上	計	介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
2階	0	1	1	1	3	3	9	2階	0	2	2	3	2	0	9
3階	0	0	2	2	4	1	9	3階	0	1	4	1	3	0	9
・ホーム実施報告															
行事報告															
＜12月中旬～2月中旬の行事レク＞															
12月22日…クリスマス忘年会															
<p>毎年開催しているホーム最大の行事であります。日頃の感謝を込めてスタッフ一同が練習を積み、銭太鼓や手品、ハンドベルなどの出し物を披露しました。入居者、家族様の沢山の笑顔が見られ楽しいひと時を過ごされました。</p>															
1月6日、10日…初詣															
<p>昨年に続き今年も辛国神社に行きました。入居者様は賽銭を投げ入れ、それぞれ願い事をされていました。その後、茅の輪くぐりをされ無病息災を祈願される方もおられました。</p>															
1月14日…グループホーム計画作成者の集い GH華はびきの															
<p>テーマ:①「入居者様の状態によって区分変更をしているかどうか」 ②「入居者間のトラブルについての対応はどうしているか」</p>															
①全GH、ホームからの申請要望することはないが、家族様からの申し出には対応している。															
②一方的に感情が高ぶっておられる等の場合は、落ち着いていただくためにも本人に一旦居室で過ごしてもらう。etc															
2月3日…節分															
<p>グループホームあおやまにもたくさん福が来ますようにと、今年も入居者様には鬼退治に豆まきをして頂きました。また節分にまつわる手作りの紙芝居も見頂き、最後に鬼と共に写真撮影をしました。</p>															

2月10日…グループホーム計画作成者の集い GHころあい

テーマ:①「支援内容の統一をどのように行っているか」

②「ケアプラン作成時、文章などで悩んだ時にどの様なものを参考にしているか」

①介護サービス計画書を確認しプランに沿って介護記録を記入する。サービス内容ごとに色分けをし、現場で出来ていなければ声をかける。ケアプランに沿った介護記録になっているか？誰がチェックしているのか？という事が最終課題として残る。

②視点が違うので他の作成者が作成したプランを参考にする。本を参考にしている。自分の文章スタイルを作る。etc

<今後の行事予定>

3月3日…ひな祭り

3月30日、31日…花見(峰塚公園)

#### 菜園活動報告

1月下旬に菜園で育てた大根を入居者様と収穫しました。収穫した大根は2階、3階で分けて2月1日の昼食メニューをおでんにして食べました。今年は例年より大根は太く良く育ち、しっかり煮込んだので柔らかくとても美味しかったと感想が聞かれました。今後はじゃがいもかさつまいもを植える予定にしています。3つあるプランターにはチューリップの種を買い、また以前購入した種を乾燥させておいた物と共に蒔こうと思います。暖かくなれば入居者様と一緒にいこうと思っています。

#### 身体拘束の適正化の為の対策、検討について

今年に入り身体拘束ゼロへの取り組みと題したレジメをスタッフに配布し理解を深めました。身体拘束がもたらす身体的弊害として、例えば車椅子に拘束しているケースでは無理な立ち上がりによる転倒事故、ベッド柵のケースでは乗り越えによる転落事故、さらに抑制具による窒息等の大事故を発生させる危険性があります。身体拘束はなぜ駄目なのか？と問われると本来のケアにおいて追及されるべき「高齢者の機能回復」という目標とは、まさに正反対の結果を招く恐れがあるからというのも一つの理由だと思えます。会議など話し合う中で介護するスタッフ側が困っている事に論点がすり替わりがちですが、まずは本人が何に困っているのか分析する事をチームで話し合うことが大切であると思えます。

#### その他

・次回運営推進会議

令和2年4月16日(木) グループホームあおやまにて14時開催予定